

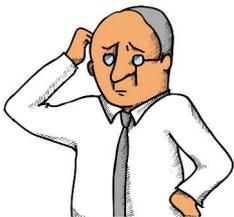
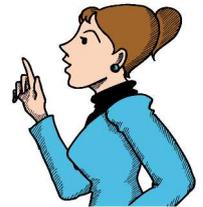
# 治療と仕事の両立支援 Q&A(導入編)

奈良労働局



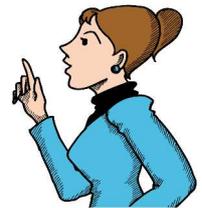
最近、社員の定着率が悪いし、募集しても集まらないなあ

社長、それなら、働きやすい職場にすることが重要です。例えば、がんなどの病気になっても治療しながら働き続けられる制度をつくったらどうですか。皆、病気になった時のことを不安に思っていますから。



そんなことなら、今でも俺に相談してくれば、できるだけことは配慮するつもりなので、わざわざそんな制度を作る必要なんてないよ。

それは違いますよ。病気になった社員が社長に特別扱いを申し出るなんてことなかなかできませんよ。それと、もし、特別扱いをしてもらえとしても、肩身が狭くて働きにくいですよ。ちゃんとした制度があれば、申し出やすいし、周囲の社員にも理解が得られるので、働き続ける環境が整いやすくなります。また、新規採用の際にもアピールできますし、病気で他社を退職した優秀な人材を獲得することも可能になりますよ。



うーん、確かに制度化した方がいいようだな。でも、制度をつくるといっても、なんか難しそうだなあ。何をしたらいいのかわからんし……。

まず、社長が社員に対して、働きながら治療が続けられるような制度を設けると宣言することから始めましょう。次に、担当者を決めます。それから、社員にどんな制度がいいのか意見を聞いたり、アンケートをしてみてもいいかもしれません。



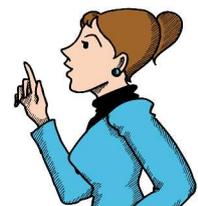
社員にアンケートしてみたら、頻繁に通院しなくてはならなくなった時に、労働時間や休日の配慮をしてほしいという意見が多かった。治療期間中に所定労働時間を短くしたり、休日を多くすることは何とかなると思うけど、そうした時の給料はどうしたらいいんだ。

もちろん、社員としては給料を減らさないようにしてもらえればありがたいのですが、それが難しいのであれば、労使で話し合っ、短時間労働や休日を追加する場合の賃金体系を定めて、就業規則に規定すればいいですよ。制度をつくっても誰も利用しないなら意味がないので、社員の意見が重要です。



そういえば、年休を半日単位で取得できるようにしてほしいとか、使わずに消えてしまった年休を使わせてほしいという要望もあったな。それなら、すぐに導入できるかもしれん。

とにかく、できることからやってみてはどうでしょうか。  
**奈良労働局労働基準部健康安全課( 0742-32-0205)に「治療と仕事の両立支援相談コーナー」が設置されているので、相談できますよ。**



# 治療と仕事の両立支援 Q&A(実践編)

奈良労働局



社長、松田さんががんと診断されたそうですが、会社に迷惑をかけたくないと退職を申し出たようです。

松田君に退職されては困る。なんとか辞めないように説得してくれ。



わかりました。

・・・翌日・・・

先日、我が社に導入した治療と仕事の両立支援制度の利用を勧めたところ、それなら何とか仕事を続けられると喜んでいました。仕事をやめた後、収入がなくなるので、どうやって生活していくか悩んでいたそうです。



それはよかった。ところで、通院はどの程度必要なんだ。今の仕事の内容を見直さなくてもいいのか。薬の副作用とかもあるのかな。ちゃんと治療を受けながら、仕事をしてもらうにはどんな配慮したらいいんだ。

それは、主治医に聞かないとわかりませんわ。まず、主治医に松田さんの業務内容などの情報を伝える必要がありますね。治療と仕事の両立支援のガイドラインによると、まず、松田さんが業務内容や就業時間等を記載した書類を主治医に提出すれば、それを参考にして、主治医が症状、就業の可否、作業転換等の望ましい就業上の措置、配慮事項を記載した意見書を作成して、松田さんに渡してくれますので、それを会社に提出してもらうこととなっています。



そうか。でも、主治医から意見書もらった後、具体的にどうすればいいのかわからんし不安だな。

我が社の産業医に相談して意見をもらいましょう。その上で、松田さんの就業プランを作成しますわ。それから、人員配置を見直して、松田さんをサポートできる体制を考える必要がありますね。



そうだな。あと、周囲の社員の理解が得られるように、我が社の治療と仕事の両立支援について改めて説明しておく必要があるな。

そうですね。今は松田さんのことですが、今後、もし自分が病気になっても安心して働ける制度があるということを理解してもらえれば、長く働こうという気持ちにもなりますし、松田さんも周囲のサポートも得やすいと思います。誰でも、病気という人生の中で非常に辛い時に優しく手を差し伸べてくれるような会社で働きたいと思いますので、松田さんに気持ちよく働き続けてもらえるようにすることは、他の社員のモチベーションアップにもつながると思いますよ。

